

印象に残った三冊

(アイウエオ順、敬称略)

- 安西 均 (詩人)
▽上田三四二「島木赤彦」(角川書店)
▽井出孫六「終わりなき旅」(岩波書店)
▽茨木のり子「ハンゲルへの旅」(朝日新聞社)
池井 優 (慶大教授)
▽阿川弘之「井上成美」(新潮社)
▽ライシャワー／国弘正雄訳「ライシャワーの日本史」(文芸春秋)
▽司馬遼太郎「アメリカの素描」(読売新聞社)
井上ひさし (作家)
▽丸山真男「『文明論の概略』を読む」上中下(岩波書店)
▽司馬遼太郎「ロシアについて」(文芸春秋)
▽大江健三郎「M/Tと森のフシギの物語」(岩波書店)
江刺 昭子 (女性史研究家)
▽G・フリーグフェルター「政治と台所―秋田県女子参政権運動史」(ドメス出版)
▽西川 祐子「花の妹―岸田 俊子伝」(新潮社)
▽良知力「女が銃をとるまで」(日本エディタースクール出版部)
大江志乃夫 (茨城大教授)
▽丸山真男「『文明論の概略』を読む」上中下(岩波書店)
▽堀田善衛「定家明月記私抄」(新潮社)
▽S・グールド／桜町翠軒訳「パングの親指」上下(早川書房)
尾崎 宏次 (演劇評論家)
▽丸山真男「『文明論の概略』を読む」上中下(岩波書店)
▽チェーホフ、クニッペル／牧原純・中本信幸訳「往復書簡」2(麦秋社)
▽ネクルイローヴァ／坂内徳明訳「ロシアの縁日」(平凡社)
嘉門 安雄 (美術評論家)
▽河村錠一郎「世紀末の美学」(研究社出版)
▽小野二郎「ウィリアム・モリス研究」(晶文社)
▽堀尾 真紀子「画家たちの原風景」(日本放送出版協会)
川上 武 (医師)
▽C・サムス／竹前栄治編訳「D D T革命」(岩波書店)
▽川人明「正直な誤診のはなし」(勁草書房)
▽小林信彦「ぼくたちの好きな戦争」(新潮社)
北川 透 (詩人)
▽「さよなら鮎川信夫(現代詩読本)」(思潮社)
▽赤坂憲雄「異人論序説」(砂小屋書房)
▽村瀬学「新しいキルケゴール」(大和書房)
串田 孫一 (随筆家)
▽中野定雄他訳「プリニウスの博物誌」(雄山閣)
▽田中美知太郎監修「プロティノス全集」(中央公論社)
▽石川忠久訳「玉台新詠」(学習研究社)
相良 竜介 (評論家)
▽丸山真男「『文明論の概略』を読む」上中下(岩波書店)
▽阿川弘之「井上成美」(新潮社)
▽青木昌彦・小池和男・中谷巖「日本企業の経済学」(TBSブリタニカ)
佐藤 忠男 (映画評論家)
▽イアン・ビュルマン／山本喜久男訳「日本のサブカルチャー」(TBSブリタニカ)
▽中川剛「不思議のフィリピン」(日本放送出版協会)
▽ミシェル・フーコー／渡辺守章訳「知への意志」(新潮社)
杉浦 明平 (作家)
▽堀田善衛「定家明月記私抄」(新潮社)
▽エドガー・斯诺の革命アルバム／高橋正訳「抗日解放の中国」(サイマル出版)
▽上田三四二「島木赤彦」(角川書店)
竹内 良知 (哲学者)
▽丸山真男「『文明論の概略』を読む」上中下(岩波書店)
▽ピエール・マシュレ／鈴木一栄・桑田礼彰訳「ヘーゲルかスピノザか」(新評論)
▽宇沢弘文「現代を問う」(東京大学出版会)
常盤 新平 (アメリカ文学者)
▽ラッセル・ベイカー／麻野二人訳「グローイング・アップ」(中央公論社)
▽ノラ・エフロン／松岡和子訳「ハートバーン」(河出書房新社)
▽バートン・バーンスタイン／須加葉子訳「バーンスタイン―その音楽と家族」(新潮社)
中嶋 嶺雄 (東京外語大教授)
▽清水幾太郎「私の社会学者たち」(筑摩書房)
▽石堂清倫「わが異端の昭和史」(勁草書房)
▽富永 孝子「大連・空白の六百日」(新評論)
中野 孝次 (作家)
▽桶谷秀昭「二葉亭四迷と明治日本」(文芸春秋)
▽上田三四二「島木赤彦」(角川書店)
▽高橋英夫「異郷に死す―正宗白鳥論」(福武書店)
堀内 守 (名大教授)
▽村井実「ベスタロッチとその時代」(玉川大学出版)
▽浦達也・松村洋・宇佐美巨「感覚の近未来」(新曜社)
▽潮木守一「キャンパスの生態誌」(中央公論社)
柳田 邦男 (評論家)
▽セイモア・M・ハーシュ／篠田豊訳「目標は撃墜された―大韓航空機事件の真相」(文芸春秋)
▽川人明「正直な誤診のはなし」(勁草書房)
▽澤地久枝「私の青春日めくり」(講談社)
山中 恒 (児童文学者)
▽松本重治「昭和史への一証言」(毎日新聞社)
▽阿部昭「短編小説礼讃」(岩波書店)
▽山本明「戦後風俗史」(大阪書籍)